

銀の風

 **大田市立病院** 〒694-0063 大田市大田町吉永1428番地3

大田市立病院の様々な情報をホームページに掲載しています。

大田市立病院

検索

※『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。

- 新任医師を紹介します！～大谷はづき医師～
- 新病院建設News -No2-
- 多職種協働で、その人らしい生活を
～がん化学療法看護認定看護師～
- シリーズ『災害に備える』Vol.1
- 今日のOFF SHOT 『天領さん』編
- 外来診療一覧

Vol. 2 0
2018 秋号

facebook いいね!
大田市立病院

新任医師を紹介します！ — 内科 大谷はづき医師 —

皆さま、こんにちは。4月より赴任いたしました大谷と申します。代謝やホルモンに関する病気を専門としています。今日は糖尿病についてお話しします。糖尿病は血糖値が高くなる病気ですが、ふつう、血糖値が多少高くても自覚症状はありません。しかし、高血糖を放置していると、様々な合併症が起こります。例えば、糖尿病網膜症は成人の失明原因の2位で、腎症は透析が必要になる原因の1位です。「血糖が高め」と言われている方は、早めに治療を受けましょう。



当院では、奇数月第4水曜日に外来糖尿病教室を行っています。糖尿病チームのスタッフが、糖尿病についての一般的な知識・治療・療育のコツなどをわかりやすくお話しします。時間は14時からで、事前予約は不要です。どなたでも自由に参加できますので、皆さまぜひお越しくださいませ。

★今後の外来糖尿病教室の開催予定

場 所 大田市立病院 第1会議室（参加費無料）

時 間 14：00～15：00

開催月日	内 容	担当
11月28日	検査結果の見方について	臨床検査技師
	運動療法の習慣を身に付ける	理学療法士
1月23日	薬のはなし その2	薬剤師
	食事療法のコツ～基本～	管理栄養士
3月27日	糖尿病の合併症について	内科医師 大谷 はづき
	気軽にできる運動療法の実践 ～運動してみよう～	理学療法士

大谷 はづき

平成27年に島根大学医学部を卒業。その後、松江赤十字病院、島根大学医学部附属病院における初期臨床研修を経て、同附属病院で1年間勤務。本年4月より出身地である大田市へ戻り、当院で内科医として勤務中。専攻は内分泌代謝、糖尿病疾患。

10月28日（日）に開催する病院まつりでは院内バンドの一員としてフルートを担当。

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

シリーズ『災害に備える』 Vol.1「災害拠点病院としての大田市立病院」

大田市東部を震源とする地震の発生から6ヶ月以上が経過いたしました。この地震では、市内各地で建物損壊や断水など大きな被害が生じました。

また、近年、全国的にも地震、風水害といった大規模災害が続いており、今後もいつどこで災害が発生してもおかしくない状況です。

そこで、このコーナーでは、大規模災害時における当院の役割や職員の動き、災害時に役立つマメ知識など、市民の皆さんの知っておいていただきたいことをシリーズでお届けしていきます。

第1回目は、大田圏域において地域災害拠点病院に指定されている当院の大規模災害時における役割や機能について紹介します。

(総務課 森山)

災害拠点病院の役割

災害発生時には、重篤な患者の救命医療、被災地からの重症患者の一時的な受入、DMAT等の医療チームの派遣・受入などを行います。

地域内で対応できない場合は、関係機関と連携し、県内外の医療機関へ広域搬送を行います。

災害拠点病院の機能

上記のような役割を果たすために、重症傷病者の受入に対応した診療設備や病院機能を3日程度維持可能な自家発電装置の保有、飲料水、医薬品、食料の備蓄を行っています。食料については、給食調理会社との優先供給契約も締結しています。

新病院になると...

新病院では免震構造を採用しています。建物と基礎との間に免震装置を設置することで地盤と切り離し、建物に地震の揺れを直接伝わらないようにします。建物本体だけでなく、院内設備や在院者への影響も低くすることができます。

多職種協働で、その人らしい生活を ～がん化学療法看護認定看護師～



「がん化学療法看護認定看護師」は、抗がん薬治療に伴う副作用に対する指導や生活の助言を専門的に行う看護師です。抗がん薬は、新薬の開発により出現する副作用も多様化してきています。私は、がん患者さんが納得して治療を選択され、抗がん薬治療を受けながら『自分らしく生活できる』ことを目標に活動しています。

今年度から医師、看護師、薬剤師で構成されたがん化学療法チーム会が立ち上がりました。島根大学医学部附属病院腫瘍内科の医師に助言を頂きながら、緩和ケアチーム員と協働してがんに伴う身体症状の緩和をはかったり、療養上のアドバイスをを行い、最期まで自分らしく過ごせるようお手伝いさせていただきます。

がん治療についての疑問やお困りごとがありましたら、ぜひご相談ください。



がん化学療法チーム会の様子

(看護部3階病棟 がん化学療法看護認定看護師 増本和子)

新病院建設NEWS —No.2—

『建設現場見学会』を開催しました！

8月25日（土）に市民を対象とした新病院建設現場見学会を開催しました。

当日は、事前に申し込みいただいた23名の方が参加され、現場事務所会議室において、工事担当者から建設事業の概要や新病院で採用した免震構造※について説明した後、建設現場において、免震装置の設置状況等についてご見学いただきました。

参加者からは、免震構造のコストや新病院開院後の診療体制等について多くのご質問やご意見をいただきました。

今後も、様々な機会を通じて、工事の進捗状況等についてお知らせしていきます。

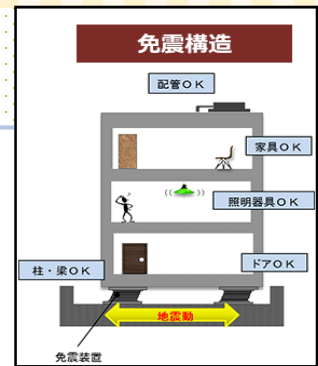
（事務部 新病院建設室）



事業説明の様子



現場見学の様子



新病院で採用した免震構造のイメージ

※免震構造：建物と地面の間に免震装置を設置し、地震のエネルギーを免震装置が吸収することにより、建物の損傷を抑える構造

今日の OFF SHOT 『天領さん』編

8月5日（日）、毎年の恒例の天領踊りに今年も病院職員およそ70名で参加をいたしました。猛暑の中でしたが、楽しみながら全員が無事踊りきることができました。

今回はそんな天領さんの様子を厳選した（？）写真で紹介いたします。



出発前のひとコマ



ステージ上で病院をPR



キレのある踊りを披露するリハビリテーション技術科職員



参加者全員で記念撮影



笑顔弾ける事務部長



お知らせ



第5回 病院まつり

とき 10月28日(日)
10:00~15:00

ところ リハビリ棟(メイン会場)

恒例の病院まつりを今年も開催いたします！

今年のメイン企画では、赤十字防災セミナーと題して、日本赤十字社から講師をお招きし、普段からの災害への備えなどをお話しします。

また、お医者さんや看護師さんに変身したり、手術体験といった普段できない体験もできますよ。

その他、各種屋台、ショベルカー乗車体験、血管年齢測定などなど盛りだくさんの企画をご用意しています。

職員一同、多くの皆様のご来場をお待ちしています！

リトルドクター・
リトルナース体験



腹腔鏡
手術体験

昨年の
病院まつり
の様子

外来診療一覧

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

平成30年10月1日 現在

診療科		月	火	水	木	金
一般外来	内科	●	●	●	●	●
	神経内科	●		●隔週		
	呼吸器内科		●			●
	消化器科	●	●		●	
	循環器科		●	●	●	
	メンタルヘルス科				○	
	小児科	●	●	●	●	●
	外科	●	●	●	●	●
	呼吸器外科					●
	心臓血管外科			●※1		
	整形外科	●※2		●※2		●※2
	脳神経外科			●	●	●
	皮膚科	●※3	●	●	●	●
	泌尿器科	●			●	●
	産婦人科	●	●	●	●	●
	放射線科		●		●	
	ペインクリニック	●		●	●	●
	眼科	●※4				●※4
	耳鼻咽喉科		●		●	
	総合診療科		●			
専門外来	リウマチ外来	○			○	
	腎臓内科		○			
	血液・腫瘍内科			●	●	
	ペースメーカー外来					○※5
	小児神経外来				○※6	
	小児心臓外来		○			
	乳児健診		○			
	小児予防接種					○
	緩和ケア				○※7	
	乳がん検診				○	

～編集後記～

秋になり、涼しくなって過ごしやすいい日が増えましたね。「〇〇の秋」とよく言いますが、皆さんはどんな秋を思い浮かべますか？きっと多くの方が「食欲の秋」を思い浮かべるのではないのでしょうか。

秋の旬の食材の中でも、今回は「サツマイモ」について少し紹介させていただきます。実はサツマイモは大田市と関係が深く、江戸時代中期に井戸平左衛門という方が、石見国でサツマイモを広め、多くの領民を飢餓から救ったという説があります。井戸平左衛門はのちに「いも代官」と呼ばれ人々から敬意を集めることとなったそうです。

身近な食材について調べてみると、大田市とゆかりがあり、新しい発見となりました。

(担当 H・Y)



発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永1428-3

TEL: 0854-82-0330

FAX: 0854-84-7749

【受付時間】 8:30~11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

※1 第2・4水曜日

※2 予約券をお持ちの方は8:30~15:30(初診の受付を制限する場合があります)

※3 隔週で午後の診察(13:15~15:00)もあります(10月は第1・4月曜日)

※4 初めて受診される方は8:30~10:30

※5 第2金曜日14:00~16:00

※6 第1木曜日

※7 第3木曜日